

# 4 質の高い教育を みんなに



# 目標 4 質の高い教育をみんなに

QUALITY EDUCATION

## ●この目標(Goal)の解説

この目標では、若年層から成人に至るまで、生涯学べる機会や環境を保障し、市民が自分自身を高め、自分の望む人生を歩んでいくことができることをめざしています。



SDGsの前身であるMDGsや、「万人のための教育(EFA)」が掲げられて以降、世界では初等教育の就学率や成人識字率に一定の改善がみられました。しかしながら、世界では未だに6,100万人の子どもが小学校に通うことが出来ず、内2,500万人は一度も学校に通うことなくその生涯を終えていくとされています。また、成人のおよそ1/6が読み書きができないとされており、これについてもジェンダー格差や地域格差が依然として存在しています。目標4では、「教育」の定義に高等教育へのアクセス拡大や職業教育・訓練の充実も含め、従来のMDGsやEFAよりも幅広い、まさしく「誰一人取り残さない」を体現したものとなっています。

日本においても、この目標4の達成に関しては依然課題が存在します。待機児童問題や高校無償化問題などは、その具体例といえるでしょう。こうした日本にもある課題に取り組む中で、より多くの人々が自分たちの身近なものとして目標4を捉えることが出来ます。

さて、目標4では従来よりも教育の定義が拡大したことに合わせ、必要となる資金も多くなってきます。しかし、途上国においては財源が足りないため、日本を含めた豊かな国の支援が必要となってきます。そのために、目標17でも掲げられている、豊かな国は「ODAとして拠出する」という約束を果たし、さらに教育への援助額を6倍に増やす必要性があります。

## ●大学生協での実践事例



### 北海道教育大学生協(旭川校) SDGs学習会 in こば交流会

学生委員、教職員、生協職員の3者が大学生活をよりよくするための交流会を行いました。SDGsの解説をするだけでなく、身近に感じてもらうために、国連広報センターにあるすごろくを用いて、よりSDGsに対して楽しくわかりやすく学んでいました。

ただSDGsを学ぶだけでなく、一緒にSDGs達成していくために教職員と学生委員が関係づくりする場にもなっていました。



### 名古屋大学生協 学際交流企画 AIM

#### -Academic Integration Meeting-

学部4年生、大学院生を中心に、参加者が自分の研究の紹介を行い、参加者同士で交流を行う、という企画を行いました。分野を超えた研究や学びの交流・議論が活発に行われ、参加者にも好評でした。新たな知識を得て教養を深めたい、という参加者が多く、自分の専門外の研究を知ることで新たな知見を得ることができました。



## ●この目標に対して私たちができること

👉私たちができること/自分の大学・大学生協でできることを考えてみよう！